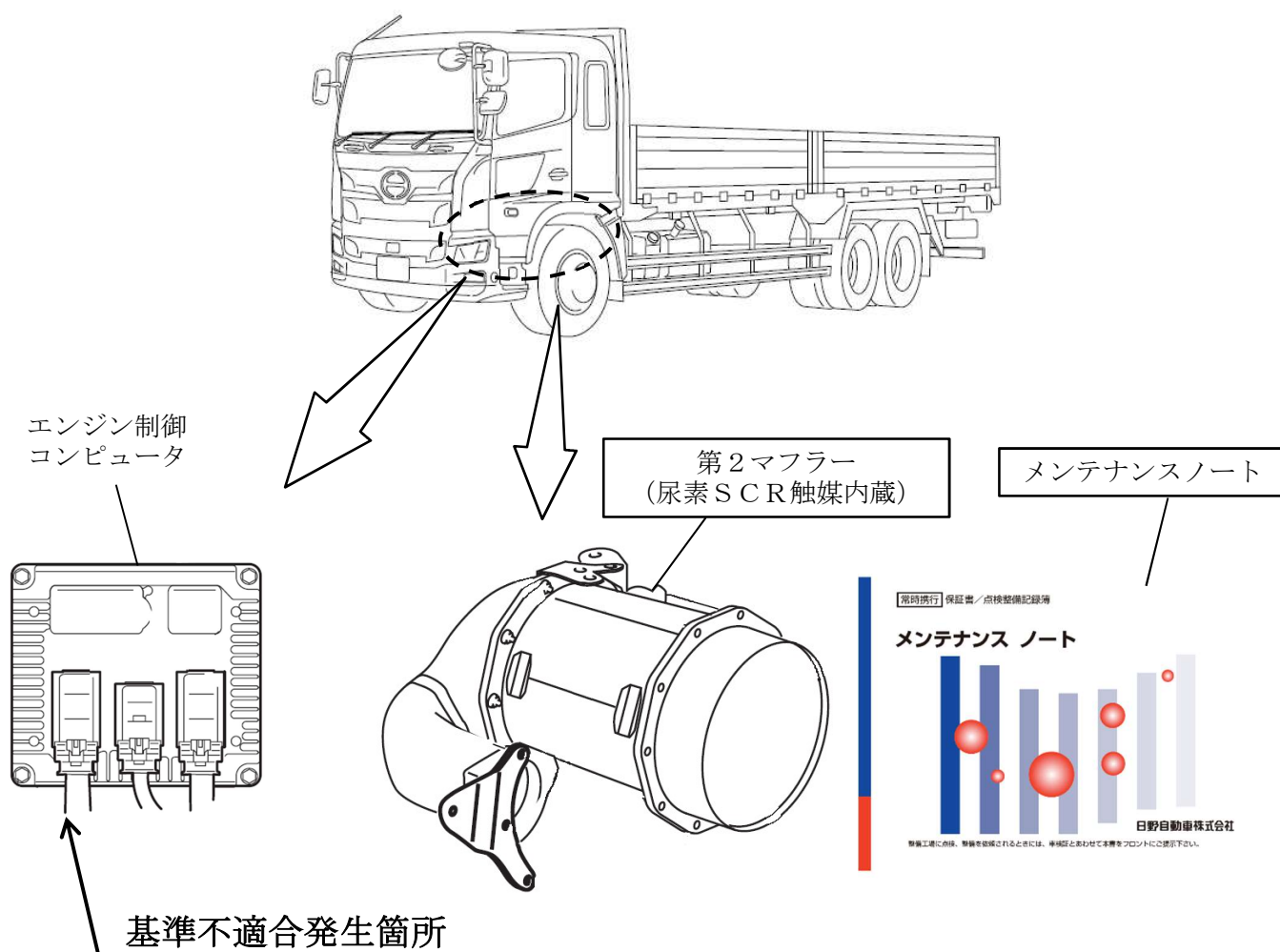


改善箇所説明図



注： は措置する部品を示す。

E13Cエンジン搭載車において、DPR再生用制御プログラムが不適切なため、高回転高負荷条件でのDPR再生中に尿素SCR触媒温度が想定より高温となり、触媒劣化の進行が早くなることがある。そのため、そのまま使用を続けると排出ガス中の窒素酸化物の排出値が規制値を超えるおそれがある。

改善の内容：

全車両、暫定措置として、浄化率の点検を行い、基準値を超える場合は触媒を交換する。
また、メンテナンスノートの点検整備項目にSCR触媒の浄化率点検を追加する。
なお、恒久対策が決定し次第、改めて措置を実施する。

識別：改善実施済車には、所定の位置に白色ペイントを塗布する。

トラック：シリアルナンバープレートの左中央

バス：運転者席左側ドア開口部のシリアルナンバープレートの左下